

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	ひとり親家庭等日常生活支援事業	所管	保健福祉部 子ども支援課
			TEL 2998-9124

事業の目的 (何の為に 行うか)	母子家庭、父子家庭及び寡婦の自立を促進するため
------------------------	-------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	母子家庭、父子家庭及び寡婦(国勢調査による)	対象とした数	2,838	人
		実際に 利用した数	7	人

活動の内容	(何を したか)	慶弔事などの突発的な用務、親の疾病等によって、一時的に炊事・送迎などの生活支援が必要となった際に、生活支援員を派遣する。 ①利用を希望する方は、申請書により登録を行う。②登録者が制度を利用する場合、生活支援員派遣申請を行う。 ③市は、派遣を決定した場合委託事業者へ依頼要請を行い、利用者宅へ支援員が派遣される。 【利用者負担額(1時間当たり)】 ●生活保護世帯、市町村民税非課税世帯…0円 ●児童扶養手当支給水準世帯(生活保護世帯、市町村民税非課税世帯を除く)…150円 ●上記以外の世帯…300円							
		活動実績	項目名	委託事業者数	5	項目名	利用件数	33	項目名
			----- 単位 団体			----- 単位 件			----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	184	110	204	0.6

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	利用件数	利用件数÷目標値	30	33	110.0
			----- 単位 件	----- 単位 件	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
		予算	現状どおり 増額 減額 終了			

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040500	TEL	2998-9124
事業コード	ひとり親家庭等日常生活支援事業					
040513						
開始年度		平成 18 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市次世代育成支援行動計画			所沢市ひとり親家庭等日常生活支援事業実施要綱				
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	2節 児童福祉	中柱	2 子育て家庭への支援	小柱	(2)ひとり親家庭や障害児をもつ家庭への支援の充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 9 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○					
事業開始の背景	母子家庭、父子家庭及び寡婦は、突発的な用務や疾病等により一時的に生活援助が必要となることが多い、随時的に必要な生活支援を行うことで、ひとり親家庭等の生活の安定と福祉の増進を図ることを目的に平成18年度より事業を開始した。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)									
	母子家庭、父子家庭及び寡婦の自立を促進するため									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	母子家庭、父子家庭及び寡婦(国勢調査による)					事業の利用者				
	対象数	単位	平成 18 年度	2,838	人	利用数	単位	平成 18 年度	3	人
		平成 19 年度	2,838	人			平成 19 年度	7	人	
事業の具体的な内容及び実施方法										
慶弔事などの突発的な用務、親の疾病等によって、一時的に炊事・送迎などの生活支援が必要となった際に、生活支援員を派遣する。 ①利用を希望する方は、申請書により登録を行う。②登録者が制度を利用する場合、生活支援員派遣申請を行う。 ③市は、派遣を決定した場合委託事業者へ依頼要請を行い、利用者宅へ支援員が派遣される。 【利用者負担額(1時間当たり)】 ●生活保護世帯、市町村民税非課税世帯…0円 ●児童扶養手当支給水準世帯(生活保護世帯、市町村民税非課税世帯を除く)…150円 ●上記以外の世帯…300円										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
	平成19年度中に改善した点 委託事業者の開拓を行い、5団体に増加した。									

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		368	184	184	
	決算(見込み含む)		36	110		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(0.10 人) (人) (0.10 人) (人)				
	正規職員人件費		0.01 人	92	0.01 人	94
	公債費					
	事業費合計		128	204		
	財源内訳	一般財源	128	204	184	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
	市民一人当たり(単位:円)		0.4	0.6		
	利用数一単位あたり(単位:円)		42,666.7	29,134.3		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	委託事業者数	実績	単位	団体	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	利用件数	実績	件		4	5	5	
	成果分析	利用件数	利用件数÷目標値	件		12	33	60	
					%	達成率	40.0	110.0	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	所沢市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性		
	明らかとなった課題	ひとり親相談等を通して積極的に周知を行った結果、利用件数は増加しているが、対象者への制度の浸透を目指して、今後も事業周知を徹底する必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	今期目標項目(何を)	事業のPRや相談内容から利用件数の向上を図る。	達成水準(どこまで)	倍増	時期(いつまで)	年度内	
平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)						
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
評価理由	随時的な生活支援員の派遣は、就労の際の不安を軽減するうえで有益であり、ひとり親家庭の自立を促進するために効果的な事業であるため、引き続き事業の充実に向けていく。						
評価日	平成20年6月6日	記入者職氏名	子ども支援課長 黒澤潤子				

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価理由						
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	2141
	基本目標	2 子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます			
	主要課題	1 すべての子育て家庭への支援			
施策の方向	4 ひとり親家庭への支援の推進				